



MSD50-52013 インテリアパネルセット

取付・取扱要領書

この度はインテリアパネルセット(MODELLISTA)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合車種

品番	仕様	適合車種	備考
MSD50-52013	茶木目	ヤリス	10.5インチディスプレイ用

・最新の適合情報はMODELLISTA公式サイトをご覧ください。 <http://www.modellista.co.jp/>

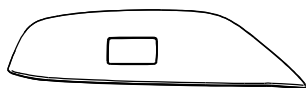
■構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
①	ドアスイッチパネル LH	—	1	
②	インテリアパネル LH	—	1	
③	インテリアパネル RH	—	1	
④	ドアスイッチパネル RH	—	1	

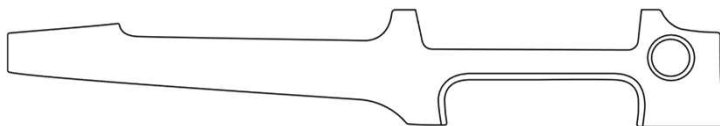
※確認 ・本商品が到着後、すぐに破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■構成部品図

①



②



③



④



■取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この警告に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行っていただくこと



警告



本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。



本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。



注意



本商品を取り付ける前に本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには対応できない場合があります。



本商品の取り付けはキズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行い、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。



特に指示のない限り、取外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領書も参考にしてください。）



脱脂作業は清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)で行ってください。上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 外気温が15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- ❗ 両面テープの圧着はテープの直上を49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に押してください。
圧着が足りないと両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ❗ 接着力を促進するため、取り付け後24時間以内は製品に触れないでください。

取り付けが終わったら

- ❗ 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- ❗ 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- ❗ 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■目次

品番・適合車種	1
構成部品	2
構成部品図	2
取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)	3~4
目次	5
取り付けに必要な工具・保護具・消耗品	5
保証について	5
取り付け構成図	5
取り付け準備、取り付け要領	6~10
取り付け完了後の点検・注意事項	10

■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス・など

■保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

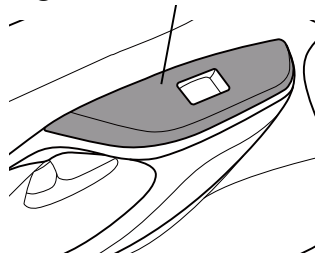
(1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTA公式サイト<<http://www.modellista.co.jp/>>

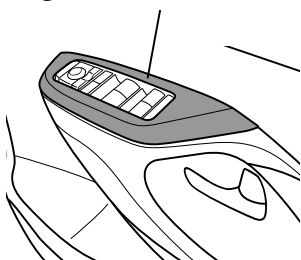
「保証について」をご覧ください。

■取り付け構成図

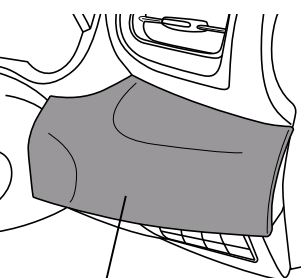
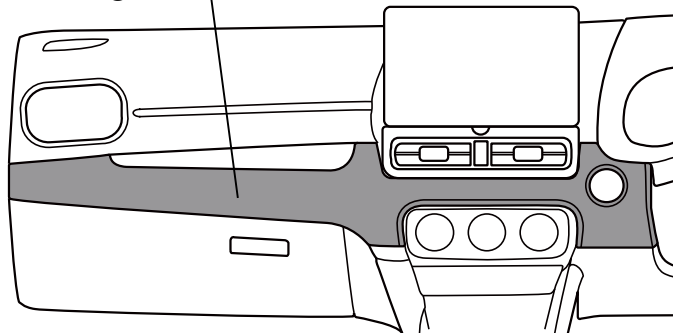
①ドアスイッチパネル LH



④ドアスイッチパネル RH

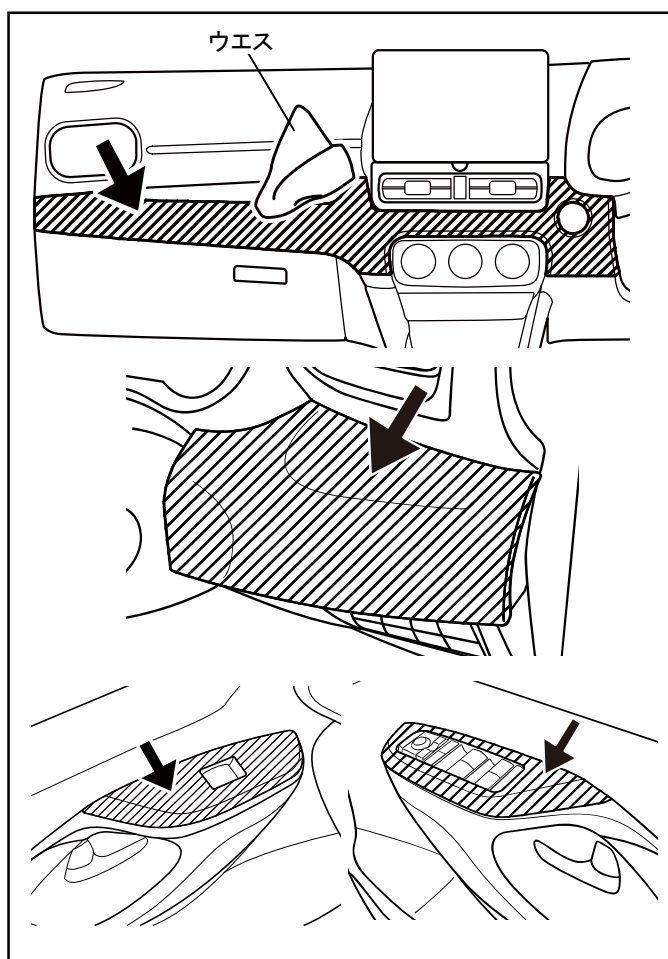


②インテリアパネル LH



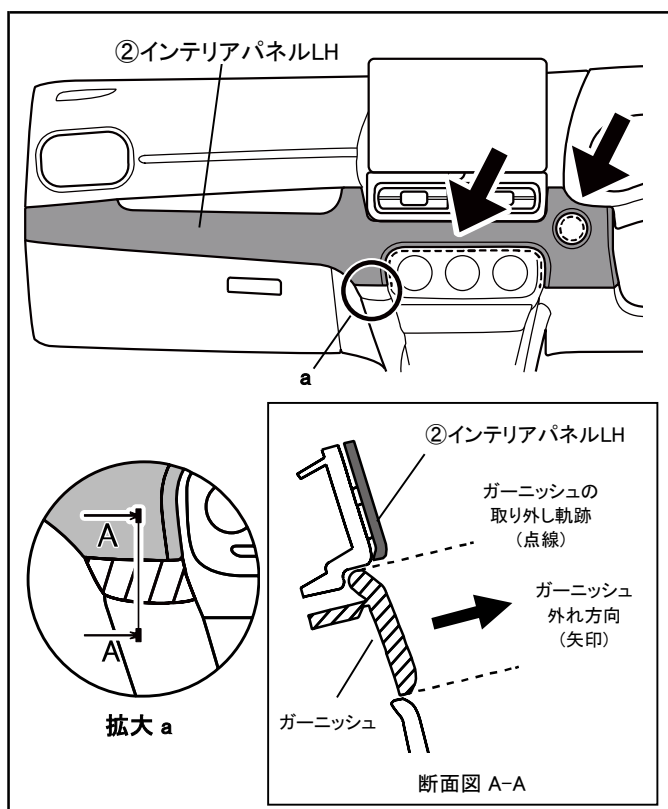
③インテリアパネル RH

取付手順



A 取付面の洗浄と準備

- 1) 製品取付部位の汚れや油分を
イソプロピルアルコール(IPA)を含ませた
ウエスにて一方向に拭き取ってください。
(図中斜線部)

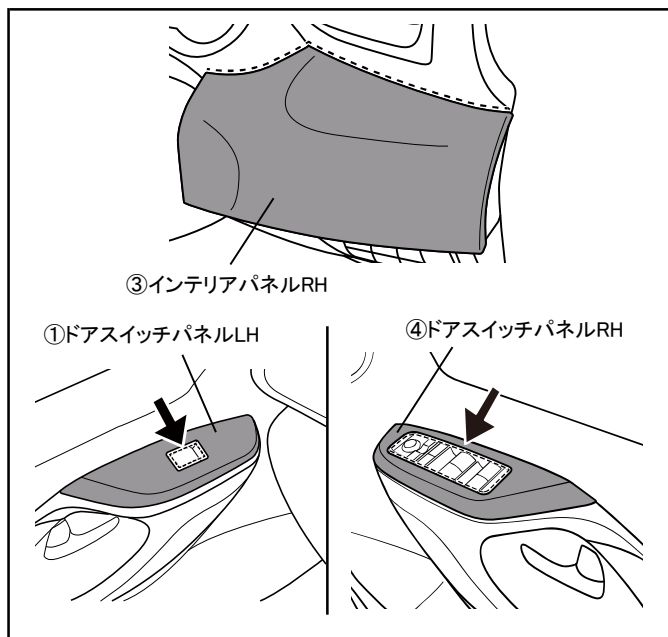


B 取付位置確認

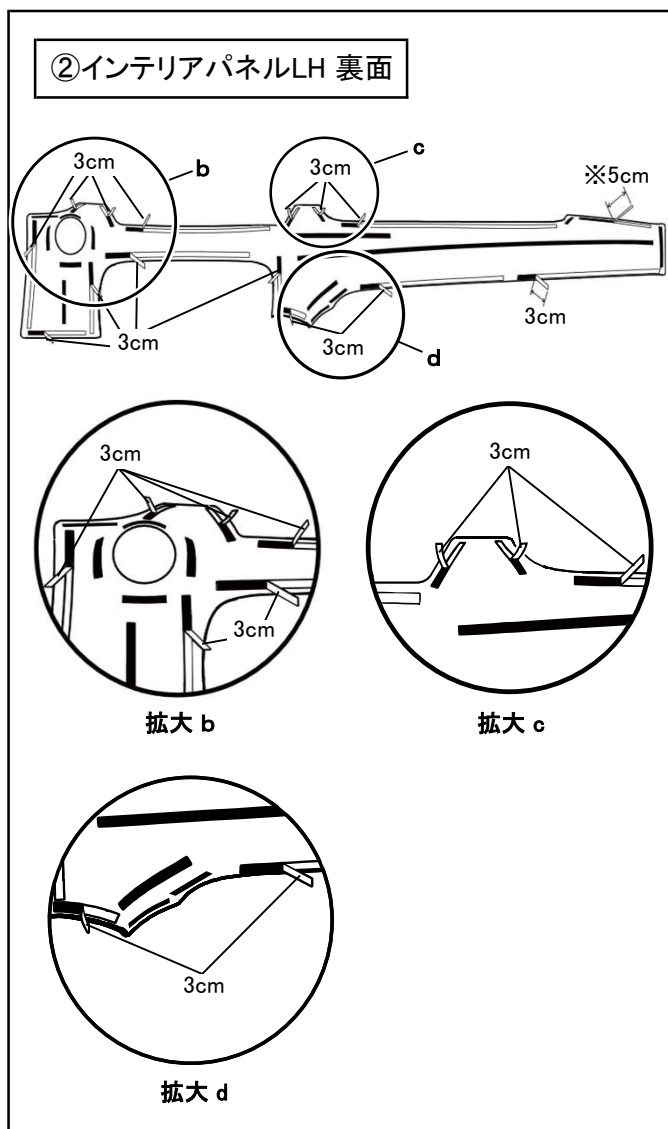
- 1) ②インテリアパネルLH 裏面の両面テープ離型紙は
剥がさずに、図中に示す点線部と車両側との隙間が
均一になるように合わせながら、
断面図A-Aを参考にガーニッシュの取り外し軌跡内
に入らない様に取付位置を確認してください。

⚠ 注意

②インテリアパネルLHがガーニッシュの取り外し軌跡内に入るとガーニッシュが外れなくなり、周辺部品が取り外せなくなります。



- 2) ③インテリアパネルRH 裏面の両面テープ離型紙は剥がさずに、図中に示す点線部と車両側との隙間が均一になるように取付位置を確認してください。
- 3) ④ドアスイッチパネルRH 裏面の両面テープ離型紙は剥がさずに、図中に示す点線部と車両側との隙間が均一になるように取付位置を確認してください。
- 4) ①ドアスイッチパネルLHも同様の手順にて確認してください。

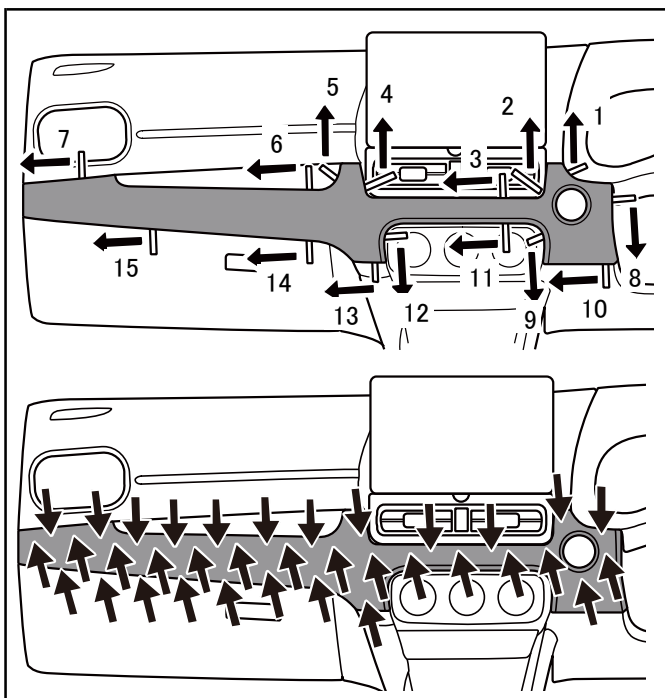


C 製品取付け

- 1) ②インテリアパネルLH 裏面の両面テープ離型紙 14箇所を左図のように3cmほどめくり、表側に折り込んでください。
左図の※印の1箇所は5cmほどめくり、表側に折り込んでください。
残りの13箇所は全て剥がしてください。

⚠ 注意

両面テープの離型紙を剥がす際にカッターナイフ等の鋭利なものを使用しないでください。
裏面に傷がつくと表面から傷が見える恐れがあります。

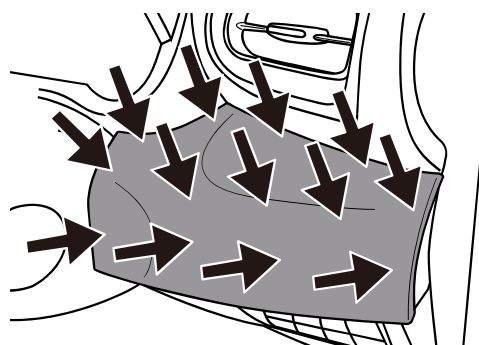
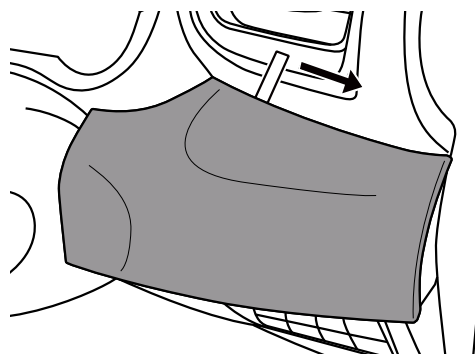
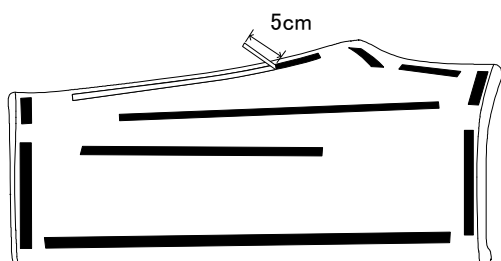


- 2) ②インテリアパネルLH を[B-1)の位置確認に従って
あてがい、15箇所の離形紙が表側に出ていることを
確認してから、左図の数字の小さい順に離型紙を
引抜き、製品全体を圧着してください。

⚠ 注意

製品を貼り直しますと両面テープの接着力が低下
しますので、取付け作業は慎重に行ってください。
圧着をせずに装着しますと製品が剥がれる恐れが
ありますので確実に行ってください。
インパネル LHがガーニッシュの取り外し軌跡
内に入るとガーニッシュが外れなくなり、
周辺部品が取り外せなくなります。

③インテリアパネルRH 裏面

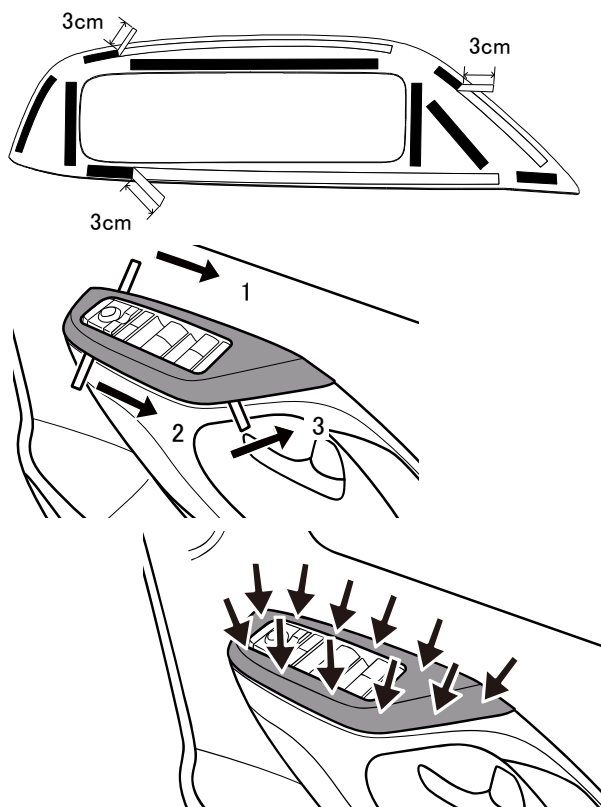


- 3) ③インテリアパネルRH 裏面の両面テープ離型紙
1箇所を左図のように5cmほどめくり、
表側に折り込んでください。
残りの箇所は全て剥がしてください。
- 4) ③インテリアパネルRH を[B-2)の位置確認に従って
あてがい、1箇所の離形紙が表側に出ていることを
確認してから、離型紙を引抜き
製品全体を圧着してください。

⚠ 注意

製品を貼り直しますと両面テープの接着力が低下
しますので、取付け作業は慎重に行ってください。
圧着をせずに装着しますと製品が剥がれるおそれ
がありますので確実に行ってください。

④ドアスイッチパネルRH 裏面



- 5) ④ドアスイッチパネルRH 裏面の両面テープ離型紙
3箇所を左図のように3cmほどめくり、
表側に折り込んでください。
残りの箇所は全て剥がしてください。

⚠ 注意

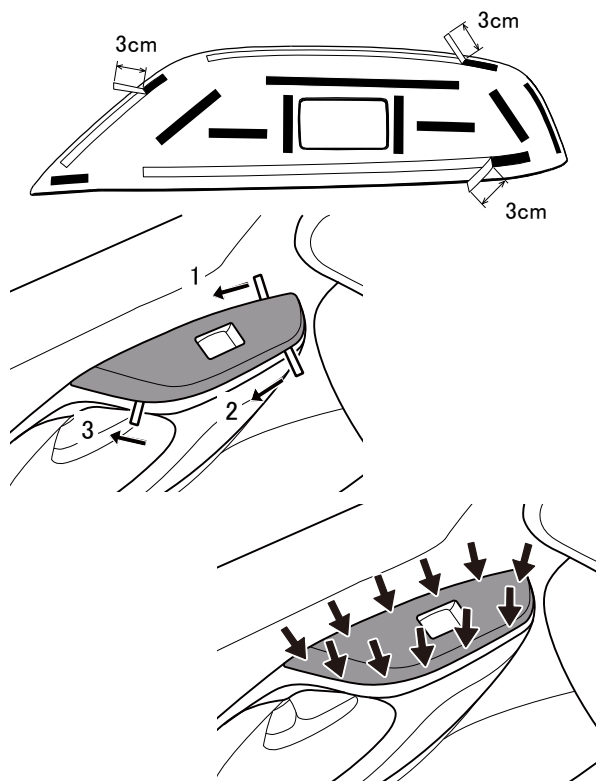
両面テープの離型紙を剥がす際にカッターナイフ等の鋭利なものを使用しないでください。
裏面に傷がつくと表面から傷が見える恐れがあります。

- 6) ④ドアスイッチパネルRH を[B-3)の位置確認に
従ってあてがい、左図の数字の小さい順に離型紙を
引抜き、製品全体を圧着してください。

⚠ 注意

製品を貼り直しますと両面テープの接着力が低下
しますので、取付け作業は慎重に行ってください。
圧着をせずに装着しますと製品が剥がれるおそれ
がありますので確実に行ってください。

①ドアスイッチパネルLH 裏面



- 7) ①ドアスイッチパネルLH 裏面の両面テープ離型紙
3箇所を左図のように3cmほどめくり、
表側に折り込んでください。
残りの箇所は全て剥がしてください。

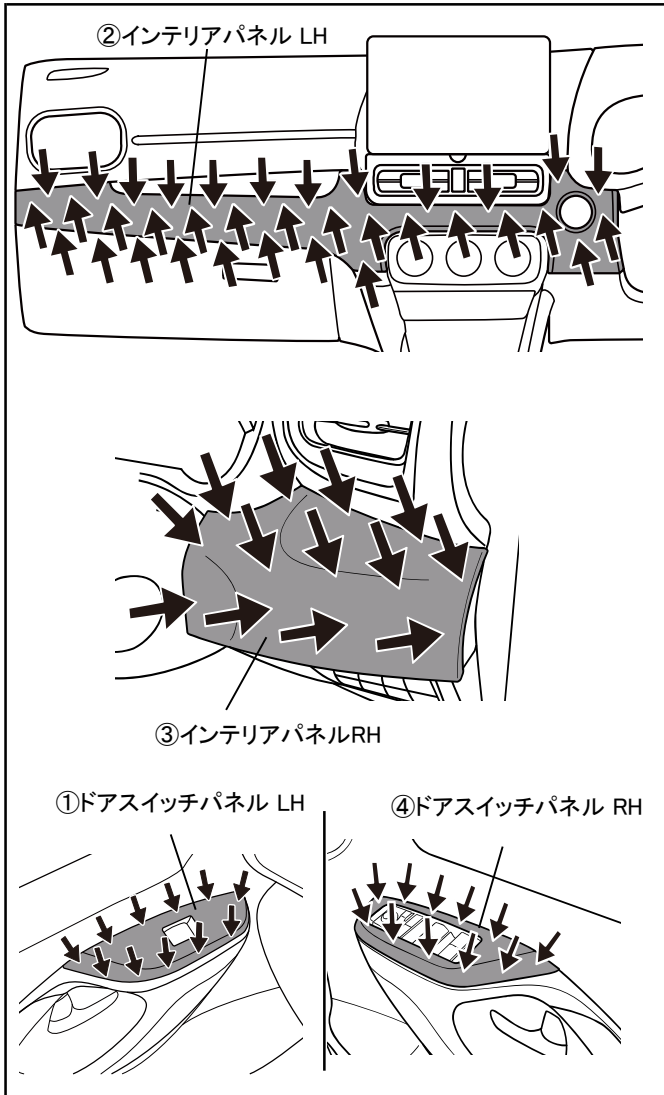
⚠ 注意

両面テープの離型紙を剥がす際にカッターナイフ等の鋭利なものを使用しないでください。
裏面に傷がつくと表面から傷が見える恐れが
あります。

- 8) ①ドアスイッチパネルLH を[B-4)の位置確認に
従ってあてがい、左図の数字の小さい順に離型紙を
引抜き、製品全体を圧着してください。

⚠ 注意

製品を貼り直しますと両面テープの接着力が低下
しますので、取付け作業は慎重に行ってください。
圧着をせずに装着しますと製品が剥がれるおそれ
がありますので確実に行ってください。



9) 再度製品全体を圧着し、浮き等が無いか確認してください。

圧着は車両がゆれるくらいを目安に圧着してください。

■取り付け完了後の点検・注意事項

- 1.商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- 2.商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- 3.商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- 4.作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- 5.本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
6. 接着力を促進するため、取り付け後24時間以内は製品に触れないでください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

MODELLISTA 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

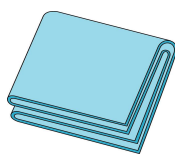


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
- ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
- ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



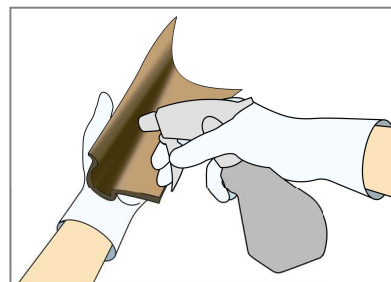
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

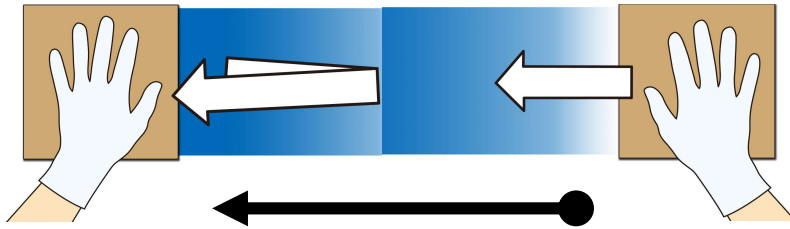
脱脂剤を含ませたウエスで

1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

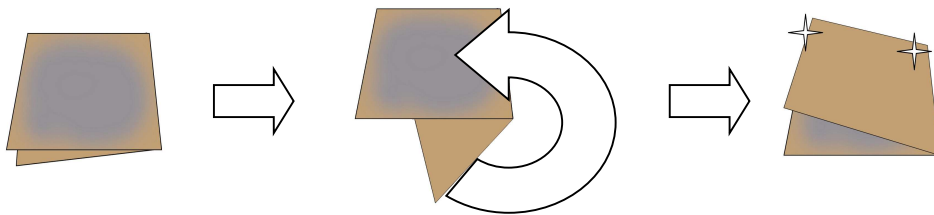
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。